

# あいち農産物生産流通レポート

平成27年9月号

情報サロン		
・「ふるさと全国県人会まつり」に出展します！	(食育推進課)	1
地域トピックス		
・和紅茶を楽しもう！紅茶手づくり体験交流会が開催されました！	(新城設楽農林水産事務所)	2
・県内トップを切って新米出荷！あいち米初出荷式が開催されました！	(海部農林水産事務所)	3
東日本情報		
・アグリフードEXPOで食のトレンドを紹介	(東京事務所)	4
西日本情報		
・水田転作作物の生産動向について	(園芸農産課)	6
フラワーページ		
・8月盆及び彼岸の花き需要について	(東京事務所)	7
青果		
・愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)		9
・名古屋・東京市場における青果物の9月の見通し		10
花き		
・切花・鉢花の9月の見通し(県内市場)		22
輸出入		
・主要農林水産物の輸出入実績(2015年6月)		26
関連指数		27

内容についての問い合わせ先

愛知県東京事務所行政課農産物流通対策グループ (03)-5492-5400  
愛知県農林水産部食育推進課 (052)-954-6421

## 「ふるさと全国県人会まつり」に出展します！

ふるさと全国県人会まつり実行委員会の主催により、名古屋市中区栄の「久屋大通公園」において、9月12日（土）及び13日（日）に「ふるさと全国県人会まつり2015」が開催されます。本県は、ブース出展及びステージ出演などで例年参加しており、愛知県農産物需要拡大推進協議会（構成：愛知県、愛知県経済農業協同組合連合会）も農産物の販売による本県産農産物のPRを行います。この機会にトマト、いちじく、梨など、新鮮なあいちの農産物をぜひお召し上がりください。

また、各県人会のブースでは、郷土料理やお菓子、お酒などが揃い、ステージは、踊りや民謡、芸能で盛り上がります。人気のご当地キャラクターも集合し、会場を一周すれば、日本全国の魅力を味わうことができます。皆様のご来場をお待ちしております。

【名 称】 「元気発信！ふるさとのチカラ」ふるさと全国県人会まつり2015

【開催日】 平成27年9月12日（土）～13日（日）

【時 間】 午前9：30～ 雨天決行

【場 所】 久屋大通公園／久屋広場（名古屋市中区）地下鉄名城線「矢場町」駅 徒歩1分

【料 金】 入場無料

【内 容】 東海地区にある道県人会を中心に、郷土芸能、特産品販売、観光PRなどを通してふるさとの魅力を紹介する。

- ・各県人会によるブース出展、ステージでの郷土芸能披露
- ・ふるさと絵手紙コーナー
- ・郷土♡(あい)もりあげ隊アイドルユニット「OS U」
- ・ふるさとの読売新聞展示
- ・ゆるキャラ!!大集合、スタンプラリー抽選会
- ・(新企画)お国言葉でふるさとPR 観光大使大集合！

昨年度の様子



## 和紅茶を楽しもう！紅茶手づくり体験交流会が開催されました！

平成27年7月20日（月）の海の日に、新城市の富岡ふるさと会館で「紅茶手づくり体験交流会」が開催され、新城市内の親子らを中心とした71名が参加しました。

この交流会は、昨年から「しんしろ紅茶研究会」が紅茶の手作り体験等を通じて、「しんしろ茶」のことを広く知ってもらおうと行っているもので、今回は2回目の開催となります。

### 手揉み体験

園地での茶摘み体験、手揉み体験が行われました。手揉みは、茶葉を発酵させるため、手で圧迫しながら揉みこみ、細胞組織を破壊する工程です。

揉みこむにつれて発酵が進むと、独特のいい香りが漂い、手の中で変化していく茶葉に、子供たちは興味津々の様子でした。講師がお茶の性質や紅茶を作る工程を丁寧に説明すると、親子ともに真剣に耳を傾けていました。



（手揉みをする参加者）

### 闘茶会

手揉み体験で揉みこんだ茶葉を乾燥させ、紅茶にするまでの間は、闘茶会が行われました。これは講師が用意した6種類のお茶を、外観や味などで違いを判断し、正しいものを当てるゲームです。難しいゲームではありましたが、正解者を伺うと多数の参加者の手が挙がり、主催者側を驚かせていました。



（闘茶会の様子）

ほかにも、「親子スイーツ教室」や「五平餅作り」などの体験イベントを実施しました。参加者は、出来上がった自分だけの「my 紅茶」と講師からの一煎パック（お茶パック）のプレゼントをもらい、大満足の様子でした。

**県内トップを切って新米出荷！あいち米初出荷式が開催されました！**

早場米の産地である弥富市鍋田から平成 27 年 8 月 12 日(水) 県内トップを切って新米が出荷されました。

**平成 27 年産あいち米初出荷式**

この日、JA 鍋田支店集出荷場で安藤正明県議、加藤農林水産部長ら関係者が臨席し初出荷式が開催されました（JA あいち海部、JA あいち経済連主催）。

一日検査員を委嘱されたミス弥富による検査、出席者によるテープカットセレモニーの後、県内で最も早く「あきたこまち」5,867 袋（1袋 30kg）を積んだトラックが新米出荷の幟をはためかせ出発しました。

出荷された米はすべて 1 等米で、翌日 13 日から A コープ始め県内のスーパーで販売されました。



（初出荷式でのテープカットセレモニー）

**消費者交流会**

式典後の会場では、安全・安心な取組で「安心あいち米」として売り出している県産米を味わってもらおうと、新米のおにぎりが夏休み中の子どもたちや消費者に振る舞われました。また、県が育成した小麦「きぬあかり」を製麺したきしめんも提供され喜ばれました。



（消費者交流会の様子）

JA あいち海部鍋田支店管内では、約 520ha の水稲作付のうち早場米の「あきたこまち」と「コシヒカリ」が 9 割近くを占めます。今年産の「あきたこまち」は、収量は平年よりやや少なめですが、高温障害は少なく品質は良好でした。

## 水田転作作物の生産動向について

国のデータによると主食用米の需要量は、毎年約8万トンずつの減少傾向にあります。主食用米の需給バランスを確保するとともに水田を有効活用するため、県内では様々な転作作物が作付けされています。ここでは転作作物のうち、代表的な作物である麦類・大豆及び飼料用米の生産動向について説明します。

## 1 麦類・大豆

麦類・大豆は西三河地域、豊田加茂地域及び海部地域を中心にブロックローテーションにより水稲と組み合わせた2年3作型で作付けされています。

## (1) 小麦

近年では上記地域以外にも作付が広がっており、26年産では5,420haと22年産と比較し200ha増加しています。品種は「農林61号」が主力でしたが、24年産から県が育成した「きぬあかり」の本格生産が始まり、27年産では小麦作付面積の7割を占める主力品種となっています。なお、30年産には小麦作付面積のほとんどが「きぬあかり」となる予定です。

## (2) 大麦

大口町では、六条大麦が80ha程度作付されており、麦茶に使用されています。

## (3) 大豆

大豆の作付面積は4,200ha前後で横ばいの状況です。10aあたり収量は104～161kgと少なく年次変動も大きいことが課題となっています。

## 2 飼料用米

飼料用米とは家畜飼料として生産する米のことです。

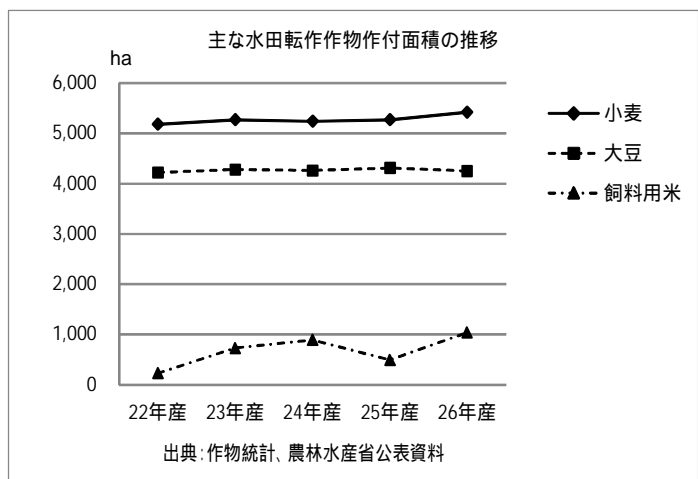
飼料用米は24年産に890haまで増加しましたが、25年産では備蓄米や加工用米へ転換されたため500haを切るまでに減少しました。しかし、飼料用米は麦類や大豆に不適な湿田等でも作付けでき、新たな機械投資も必要としないことから、尾張地域の平野部を中心に広がりつつあり、26年産では1,038haと22年産と比較し

5倍の作付面積となりました。なお、26年産主食用米の価格が過去最低水準となったことや飼料用米への取組を推進したことから、27年産は1,700haを超える見込みです。

多くは主食用品種を用いて作付けされていますが、多収性専用品種の作付も増加してきました。県が育成した「愛知125号」は多収性専用品種として29年産から種子が供給される予定です。

麦類、大豆、飼料用米等の生産は、国が実施する経営所得安定対策等による交付金等の対象となっています。

これらの交付金等を活用し、需要に応じた米生産を推進しましょう。



## 8月盆及び彼岸の花き需要について

盆及び彼岸は、仏花としてキク類の需要が最も大きくなる物日です。ここでは、本県の花き生産における主要品目であるキク類について、8月盆の販売結果及び彼岸の見通しについてお伝えします。

### 1 8月盆の販売結果

#### (1) 概要

7月下旬から8月上中旬にかけての高温により、需要が集中する8月10日(月)前後における入荷量が不足したことから引き合いが強まりました。このような状況のなか、十分な数量を確保できない小売事業者も多く、盆直前まで仕入を行ったことから荷動きは活発で高値が続きました。

(単位:円/本)

品目	年	8月			
		第1月曜日 (H27:8/3)	第2月曜日 (H27:8/10)	第3月曜日 (H27:8/17)	第4月曜日 (H27:8/24)
輪ギク (白)	H27	120	188	216	162
	H26	108	113	129	119
SPキク	H27	108	162	162	194
	H26	108	97	118	118
コギク	H27	75	108	108	108
	H26	59	70	80	81

表: 大田市場におけるキク類の8月  
販売単価(高値)

#### (2) 品目別の販売結果

##### ア 輪ギク

7月下旬から8月上中旬にかけての高温により、本県を始めとする西南暖地の産地を中心に開花抑制・出荷ロス等が発生したことから、需要が集中する8月10日(月)前後の入荷量は当初の想定を下回りました。これに伴う品薄感から小売事業者からの引き合いは強く、8月10日(月)における大田市場の販売価格(高値)は1本当り188円(前年対比166%)と前年より大幅な高値となりました。

また、盆を過ぎても不足感が強く、また開花抑制で出荷が遅くなった分はガラガラ出荷となったことから、盆を過ぎても高値の状態が続きました。

## イ スプレー菊

輪ギク、コギク価格が高騰し、また輸入も少ない状況となったため引き合いの強い状況が続き、盆需要の販売ピークを迎える8月10日(月)における大田市場の販売価格(高値)は1本当たり平均162円(前年対比167%)と前年を大幅に上回る高値となりました。

## ウ コギク

岩手県、茨城県を中心とする主力産地では高温により生育が前進し、7月下旬の供給量が増加したことで8月上旬の需要期に供給量が大幅に少ない状況となりました。これにより盆需要の販売ピークを迎える8月10日(月)における大田市場の販売価格(高値)は108円(前年対比154%)と高騰しました。

## 2 彼岸の見通し

本年の9月彼岸(9月20日(日)から26日(土)まで)の需要は前年並と見込まれます。彼岸需要に係る入荷ピークは9月14日(月)前後となる見込みですが、輪ギクについては、7月末から8月上旬までの高温により青森などの高冷地域では生育はやや前進、本県を始めとする西南暖地では生育がやや遅れている傾向がみられます。お盆明けから気温が低下しているため、生育は平年並に回復する傾向がみられますが、今後再び高温となり開花遅延等が発生した場合、需要期の供給量が少なくなることが懸念されます。

また、8月盆においては需要に対して供給が少ない状況となったことから、彼岸需要においては小売事業者が早めの仕入を行う動きがみられるほか、国産キク類価格の高止まりが続くなか、輸入の増加による国産シェアの低下などが懸念されています。

# 愛知産青果物の動向

「青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか : ± 2 % 台以内  
 や や : ± 3 ~ 5 % 台  
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台  
 大 幅 : ± 1 6 % 以上

## 名古屋中央卸売市場（品目：いちじく）

	入 荷 量 (t)	卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な産地 (上位3産地)	
		うち愛知産	うち愛知産		
26年実績	519	519 (100%)	707	707	愛知(100%)
27年見通し	500	500	700	700	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>産地はほぼ愛知で知多、三河地方が中心となる。品種は松井、サマーレッド。生育は順調である。元々いちじくは前進出荷であるが、露地物である為、雨が降ると入荷が遅れる傾向がある。よって天候によって入荷量が左右されるため、不安定な状況となる。                      入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並の見込み。</p>			<p>いちじく自体は出れば売れるが、露地物である為に、雨が降ると商品が無く、晴れると商品が出るというような状況では売れる物も売れない。                      雨よけを設置するなどして安定出荷に努めて欲しい。</p>		

## 東京都中央卸売市場（品目：ぎんなん）

	入 荷 量 (t)	卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な産地 (上位3産地)	
		うち愛知産	うち愛知産		
26年実績	45	30 (66%)	1,565	1,538	愛知(66%) 静岡(11%) 茨城(9%)
27年見通し	45	-	1,570	-	
概 要 と 見 通 し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>愛知産の入荷は、今月から本格化し、10月にピークを迎える。前年は10月の台風以降、愛知産の入荷が極端に少なくなったが、ここまで気象災害等なく豊作傾向できており、順調な入荷が期待できる。他産地も徐々に入荷が始まるが、量的に少ない。                      入荷量、価格ともに前年並の見込み。</p>			<p>ぎんなんは秋の味覚として業務筋を中心に人気が高い。愛知産は黒箱のイメージが定着しており、品質・選別ともに良好で、今後も継続した取組をお願いしたい。                      出荷に際しては、中旬頃まではカビの発生が懸念されるので、選別や品質保持の徹底をお願いしたい。</p>		



名古屋・東京市場における青果物の9月の見通し

名古屋市中央卸売市場

グラフは白抜き箇所が見通しとなります。

8月18日現在

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜	22年	36,865	195	212	202	174	北海道 42% 長野 23% 群馬 10% 青森 5%
	23年	33,487	237	230	237	242	
	24年	33,747	223	217	238	225	
	25年	35,362	175	175	180	172	
	26年	32,269	234	230	240	238	
	5ヵ年平均	34,346	213	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	32,000	208	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は北海道、長野が中心となる。他、青森等から。 雨や干ばつ、地域によっては冷害の影響で順調な生育が見込めないが、出荷自体は良好となる物が多い模様。 入荷量は前年並で、価格は前年よりかなり下回る見込み。							
だいこん	22年	1,909	113	107	127	107	青森 47% 北海道 44% 岐阜 6% 新潟 2%
	23年	2,033	122	107	132	135	
	24年	2,194	86	87	90	89	
	25年	1,905	130	126	138	136	
	26年	1,983	124	132	127	118	
	5ヵ年平均	2,005	114	111	122	116	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	1,900	126	140	120	120	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は北海道、青森が中心となる。青森では秋だいこんが出てくる模様。高温干ばつの問題があったが播種はしっかりしているため、入荷は良好となる。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並となる見込み。							
にんじん	22年	2,282	169	181	175	175	北海道 99%
	23年	2,458	119	128	132	127	
	24年	2,411	104	103	120	92	
	25年	2,377	135	133	133	139	
	26年	2,361	123	128	127	117	
	5ヵ年平均	2,378	130	134	137	130	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	2,400	130	130	130	130	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地はほぼ北海道となる。雨と干ばつの影響で、Lサイズ、Mサイズの小玉傾向。 今後、入荷の見込みはあるが、雨の影響で病気となる可能性がある。 入荷量は前年並で、価格はやや上回る見込み。							

東京都中央卸売市場

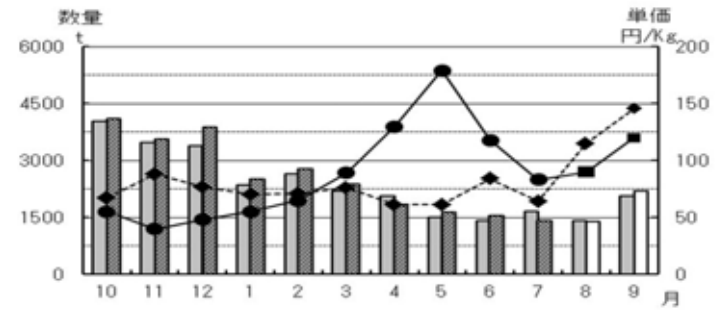
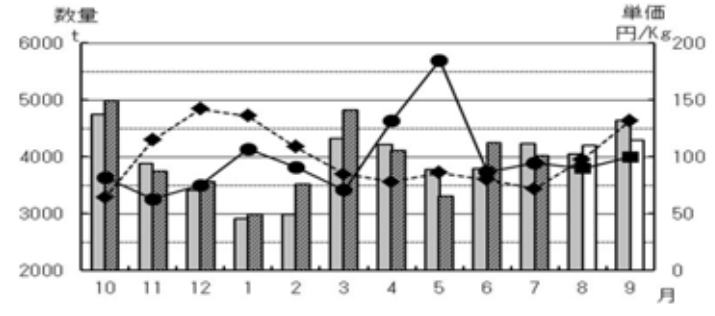
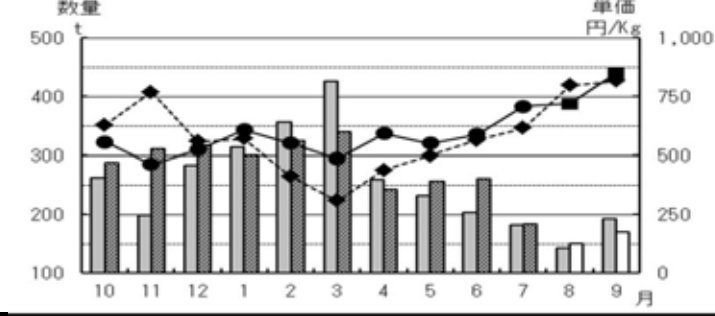
8月25日現在

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	22年	125,539	259	246	262	269	北海道 34%
	23年	128,293	244	236	248	249	長野 14%
	24年	131,883	194	183	199	202	群馬 13%
	25年	131,101	253	247	268	245	青森 7%
	26年	133,870	271	290	268	256	
	5ヵ年平均	130,137	244	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	132,500	240	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>北海道から土物類や根菜類、関東高冷地からは葉茎菜類や果菜類が入荷する。土物類の生育は概ね良好だが、そのほかは高温干ばつや降雹の影響で入荷量は前年並または少ない模様。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>							
だいこん	22年	11,589	109	103	121	106	北海道 64%
	23年	11,320	114	96	117	131	青森 32%
	24年	11,091	85	83	85	88	岩手 3%
	25年	11,477	126	116	131	131	
	26年	12,945	122	131	120	114	
	5ヵ年平均	11,684	112	107	115	114	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	12,000	115	120	115	110	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>北海道、青森からの入荷が中心となる。主要産地は7月中旬以降の長雨や高温の影響で肥大不足のため太物の発生は少なくなる模様。北海道は中旬以降入荷増の見込み。青森は作付面積減。</p> <p>入荷量は多かった前年をかなり下回り、価格は高かった前年をやや下回る見込み。</p>							
にんじん	22年	7,082	174	179	175	170	北海道 98%
	23年	7,374	126	126	124	129	中国 1%
	24年	6,933	112	106	118	111	
	25年	7,561	133	130	132	136	
	26年	8,455	114	116	117	109	
	5ヵ年平均	7,481	131	131	133	130	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	8,400	130	140	130	120	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>北海道からの入荷がほとんどを占める。北海道は作付面積微増のなか、現状Mサイズ品中心出荷だが適度な降雨があることから後半はLサイズ品率が高くなる見込み。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>							

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	22年	2,322	103	108	93	106	長野 90% 北海道 10%
	23年	2,339	107	89	128	122	
	24年	2,489	52	54	57	55	
	25年	2,225	98	110	123	84	
	26年	2,061	146	189	131	150	
	5ヵ年平均	2,287	99	107	105	102	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
27年見通し	2,200	120	120	120	120		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		産地はほぼ長野となる。他、若干量北海道から。 長野産は二毛作の物がどのくらい回復するかがポイントとなる模様。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。					 <p>数量 (トン) と単価 (円/kg) の月別推移。数量は10月～9月の棒グラフで、単価は折線グラフで示されています。数量は概ね1500～4500トン、単価は50～150円/kgの範囲で変動しています。</p>
キャベツ	22年	3,889	91	83	92	97	群馬 62% 長野 19% 北海道 15% 茨城 3%
	23年	4,396	85	73	85	101	
	24年	4,873	55	54	59	55	
	25年	4,221	93	90	95	97	
	26年	4,638	132	126	135	145	
	5ヵ年平均	4,403	91	85	93	99	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
27年見通し	4,300	100	110	100	90		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		産地は群馬、長野、北海道が中心となる。高冷地の降雪の影響や今年の干ばつや雨の影響で、一番多くある群馬県でさえあまり物がない。その影響は9月中旬頃まで続く模様。 全体的に量が少なく、入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。					 <p>数量 (トン) と単価 (円/kg) の月別推移。数量は10月～9月の棒グラフで、単価は折線グラフで示されています。数量は概ね3000～5000トン、単価は50～150円/kgの範囲で変動しています。</p>
ほうれんそう	22年	159	941	981	1,083	827	岐阜 78% 愛知 13% 長野 4% 静岡 2%
	23年	191	800	744	969	746	
	24年	192	807	775	826	823	
	25年	170	877	876	928	839	
	26年	193	817	996	795	712	
	5ヵ年平均	181	844	871	914	787	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
27年見通し	170	850	900	850	800		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		産地は岐阜が中心となる。例年より高温障害の影響で出荷が少ない。 9月下旬で愛知のハウス物が始まる。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや上回る見込み。					 <p>数量 (トン) と単価 (円/kg) の月別推移。数量は10月～9月の棒グラフで、単価は折線グラフで示されています。数量は概ね100～500トン、単価は250～750円/kgの範囲で変動しています。</p>

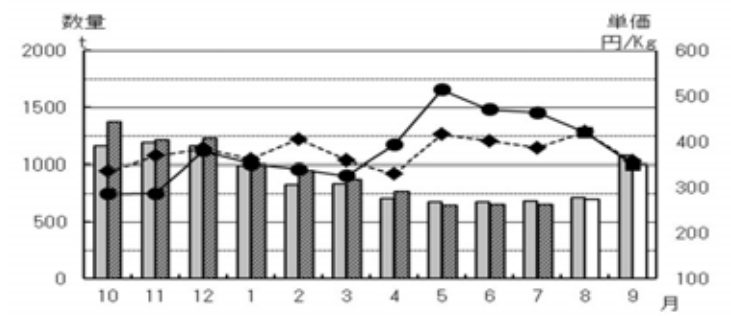
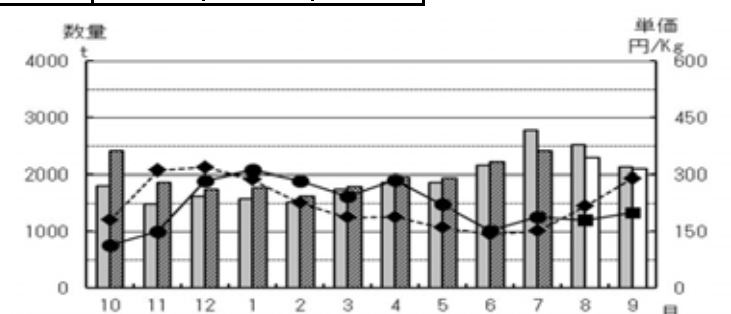
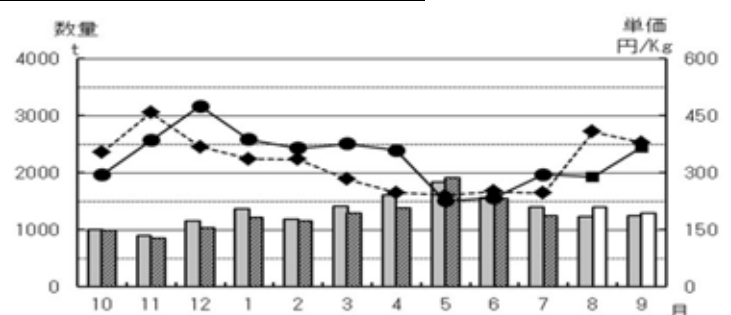
東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうろくさい	22年	8,773	99	107	83	106	長野 86% 北海道 9% 群馬 4%
	23年	8,101	107	82	116	121	
	24年	7,816	52	48	53	55	
	25年	9,114	99	103	114	83	
	26年	9,321	146	177	131	135	
	5ヵ年平均	8,625	102	106	101	101	前年及び本年の入荷量・価格の動き
27年見通し	9,000	95	100	95	90		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長野を中心に北海道、群馬からの入荷となる。長野は8月初旬の降雹の影響で出荷は少なくなる見込みだが、生育は概ね良好のため降雹被害が落ち着けば順調出荷が期待できる。</p> <p>入荷量は前年をやや下回り、価格は高騰した前年を大幅に下回る見込み。</p>					
キャベツ	22年	15,664	92	81	96	99	群馬 78% 岩手 12% 長野 4% 北海道 3%
	23年	15,362	85	71	84	103	
	24年	14,759	52	49	55	52	
	25年	14,560	97	90	100	100	
	26年	15,336	140	131	140	151	
	5ヵ年平均	15,136	93	85	95	101	前年及び本年の入荷量・価格の動き
27年見通し	14,500	107	110	110	100		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>群馬、岩手からの入荷が中心となる。群馬は8月初旬の降雹の影響が中旬頃まで残る見込み。岩手は降雨で肥大が回復傾向にあるが傷み等散見される。</p> <p>入荷量は前年をやや下回り、価格は高騰した前年を大幅に下回る見込み。</p>					
ほうろくそ	22年	800	832	822	1,009	735	群馬 28% 栃木 21% 茨城 17% 岩手 13%
	23年	879	738	759	765	690	
	24年	860	724	759	714	699	
	25年	862	770	787	813	717	
	26年	1,034	728	964	717	597	
	5ヵ年平均	887	756	824	797	683	前年及び本年の入荷量・価格の動き
27年見通し	950	750	800	750	700		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>群馬など関東高冷地と岩手からの入荷となる。各産地とも前月に続き高温の影響で生育が停滞している。群馬は一部地域で小松菜への転換があるが、中旬以降平坦地からの出荷を見込む。</p> <p>入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	22年	981	450	394	445	497	北海道 47%
	23年	937	366	353	357	397	長野 16%
	24年	932	336	321	350	343	愛知 8%
	25年	894	394	413	407	368	富山 5%
	26年	1,078	357	389	352	341	
	5カ年平均	964	380	374	382	389	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	1,000	350	350	350		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は長ねぎが愛知のみ、白ねぎが北海道、長野、富山が中心となる。長ねぎは生産者の高齢化で出荷量が減少する見込み。また、暑さの影響であまり出回らない模様。白ねぎは昨年より作付面積が増加しているため順調な出荷が見込める。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年並となる見込み。					
しそ	22年	2,006	190	192	167	206	長野 95%
	23年	1,627	278	315	341	237	茨城 4%
	24年	2,265	122	133	136	117	愛知 1%
	25年	2,361	177	140	214	201	
	26年	2,122	291	319	303	269	
	5カ年平均	2,076	207	213	226	203	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	2,100	200	200	200	200	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は長野が中心となる。高冷地で雹害があったが、軽微の物は回復している。そのため、今後雹害の影響を受けた物が入荷量は安定していく模様。 入荷量は前年並で、価格は前年を大幅に下回る見込み。					
きゅうり	22年	1,581	332	288	379	343	長野 34%
	23年	1,348	365	362	340	424	北海道 18%
	24年	1,461	214	214	198	251	山梨 17%
	25年	1,213	415	387	472	395	群馬 12%
	26年	1,245	380	471	339	341	
	5カ年平均	1,370	337	338	342	348	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	1,300	366	400	350	350	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は長野、群馬、山梨、北海道が中心となる。 8月は高温の影響で下級品の割合が多かった。9月も同様に高温の影響で株に力が無く、花も出ない模様。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をやや下回る見込み。					

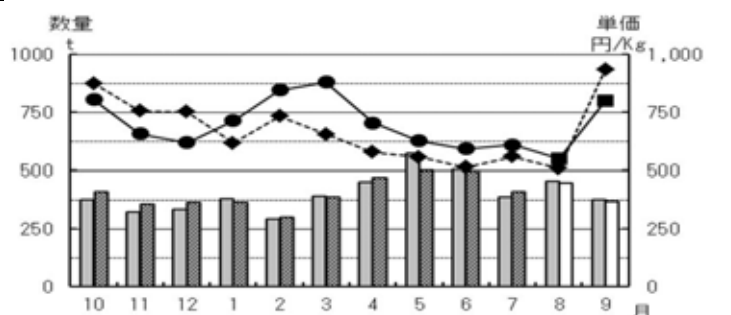
東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	22年	4,305	401	314	368	504	青森 30%
	23年	4,360	316	241	310	399	北海道 16%
	24年	4,352	280	256	276	310	秋田 15%
	25年	4,851	300	321	300	280	茨城 12%
	26年	5,308	250	276	246	229	
	5カ年平均	4,635	307	282	298	338	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	5,300	287	300	280	280	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>青森、北海道、秋田、茨城からの入荷が中心となる。各産地とも7月中旬以降の降雨で肥大は回復傾向。台風等気象災害がなければ順調出荷の見込み。</p> <p>入荷量は前年並を見込み、価格は安かった前年をかなり上回る見込み。</p>					
しそ	22年	8,236	191	191	173	206	長野 81%
	23年	7,253	302	353	338	218	群馬 11%
	24年	9,554	116	120	123	104	茨城 5%
	25年	9,564	179	137	213	191	
	26年	7,769	312	367	322	250	
	5カ年平均	8,475	213	223	226	190	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	7,800	145	145	145	145	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>長野を中心に、群馬、茨城からの入荷となる。長野は8月初旬の降雹の影響で前半の出荷が少なくなるが、その後は順調出荷の見込み。群馬は高温の影響から回復傾向で、茨城は下旬頃出揃う見込み。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は高騰した前年を大幅に下回る見込み。</p>					
きゅうり	22年	7,272	295	268	338	291	福島 30%
	23年	7,388	321	314	277	401	岩手 12%
	24年	8,515	174	170	149	221	秋田 11%
	25年	7,028	379	352	422	366	群馬 9%
	26年	7,096	345	433	301	307	
	5カ年平均	7,460	298	302	292	314	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	7,500	290	300	290	280	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>福島、岩手など東北から関東産地への移行時期となる。東北は抑制ものがピークを迎える。群馬は下旬頃に出揃い、ハウス再建が進んでいることから作付面積増で前年出荷を上回る見込み。</p> <p>入荷量は前年をやや上回り、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	22年	853	294	228	331	338	山梨 25%
	23年	732	313	274	329	365	愛知 24%
	24年	935	208	192	207	237	徳島 21%
	25年	713	336	339	338	336	茨城 12%
	26年	777	337	414	356	259	
	5ヵ年平均	802	293	284	308	304	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	800	290	300	290	280	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は山梨、愛知、徳島が中心となる。猛暑の影響で樹勢が弱く、花落ちもある。しかし、雨のおかげで出荷は良好となる模様。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。					
ト マ ト	22年	1,074	548	518	527	603	岐阜 45%
	23年	1,439	387	402	362	405	北海道 28%
	24年	1,472	364	290	421	413	愛知 6%
	25年	1,455	411	401	411	429	千葉 6%
	26年	1,217	463	405	445	606	
	5ヵ年平均	1,331	427	396	428	481	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	1,300	415	400	400	450	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は北海道、岐阜が中心となる。他、茨城、千葉から。高温の影響で着花や樹勢が弱く、生育が良くない。しかし、9月からは抑制産地が順調なため、出荷は良好となる。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。					
ト 三 二 ト	22年	272	1,028	923	1,083	1,091	北海道 76%
	23年	373	736	731	713	774	茨城 7%
	24年	429	649	462	717	847	長野 7%
	25年	379	846	738	969	844	愛知 5%
	26年	375	936	857	913	1,097	
	5ヵ年平均	366	823	724	863	919	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	370	800	700	800	900	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は北海道が中心となる。他、長野、愛知の高冷地から。北海道では軟化玉が出てきて、品質に問題があり、顧客離れがある模様。 入荷量は前年並で、価格は前年をかなり下回る見込み。					

東京都中央卸売市場

「なす」の数値には「べいなす」を含まない。

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
なす	22年	3,878	310	245	368	337	栃木 30%
	23年	3,849	304	276	283	386	群馬 27%
	24年	4,419	207	185	205	252	茨城 23%
	25年	3,665	352	314	363	385	埼玉 7%
	26年	3,808	358	391	376	302	
	5ヵ年平均	3,924	303	279	315	330	
27年見通し	3,800	355	350	360	355	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>栃木、群馬など関東産地からの入荷が中心となる。各産地とも梅雨明け後の高温の影響で花落ちや形状不良果、カメムシ類等害虫発生が散見されたが、生育は回復傾向にあり概ね良好。</p> <p>入荷量、価格ともに前年並の見込み。</p>					
トマト	22年	6,388	517	485	480	596	北海道 18%
	23年	8,202	356	373	322	378	千葉 18%
	24年	8,898	328	253	387	359	青森 16%
	25年	8,062	380	385	359	402	福島 15%
	26年	6,718	434	374	406	568	
	5ヵ年平均	7,654	395	366	386	448	
27年見通し	6,800	413	400	420	420	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道、千葉、青森、福島からの入荷が中心となる。前半は北海道、東北からの入荷が多くMサイズ品中心の見込み。後半は千葉など関東抑制ものがピークを迎えるが、高温時の着果不良や弱樹勢が散見される。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					
ミニトマト	22年	1,010	939	899	999	925	北海道 34%
	23年	1,270	686	713	655	687	茨城 24%
	24年	1,495	634	462	670	784	青森 10%
	25年	1,617	755	710	813	737	千葉 8%
	26年	1,664	856	793	830	960	
	5ヵ年平均	1,411	767	705	785	817	
27年見通し	1,650	800	750	820	830	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道、茨城、青森、千葉からの入荷が中心となる。各産地とも高温の影響から樹勢は弱めだが、夜温低下とともに樹勢の回復を見込む。北海道は着果良好で上旬にピークを迎える。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>					



名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	22年	495	402	361	413	432	岩手 45%
	23年	485	304	321	362	334	北海道 27%
	24年	475	218	274	259	234	青森 13%
	25年	373	452	470	505	481	茨城 6%
	26年	419	455	585	450	367	
マン	5カ年平均	449	360	394	392	365	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	400	450	450	450	450	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は岩手、北海道が中心となる。 猛暑の影響で、花つきや株が弱く、入荷量は少ない。気温が下がれば、入荷量が増えるので、期待したいが全体的に量はやや少ない模様。 入荷量は前年よりやや下回り、価格は前年並となる見込み。					
ばいしょ	22年	2,601	140	141	146	135	北海道 94%
	23年	2,674	117	119	123	110	青森 6%
	24年	2,347	71	83	74	67	
	25年	2,395	138	143	149	127	
	26年	2,906	104	122	110	88	
いしょ	5カ年平均	2,584	114	122	121	105	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	2,900	103	110	100	100	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は、メインは青森、北かむい、男爵は北海道が中心となる。 青森は小玉傾向であり、量も少ない。北海道は小玉傾向であるが、出荷は順調である。十勝は干ばつの影響でストロンが縮み、肥大は良くない。 入荷量、価格ともに前年並となる見込み。					
たまねぎ	22年	4,985	101	98	95	108	北海道 95%
	23年	4,292	88	79	95	98	兵庫 4%
	24年	4,879	86	104	91	80	中国 2%
	25年	4,073	106	109	110	108	
	26年	4,951	100	126	102	88	
ねぎ	5カ年平均	4,636	96	104	98	96	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	5,000	90	100	90	80	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は北海道が中心となる。 兵庫は残量が少ないため、8月いっぱい で終わる模様。北海道は順調な出荷だが、 小玉傾向である。8月に比べると、例年並 の価格に落ち着く見込み。 入荷量は前年並で、価格は前年をかなり 下回る見込み。					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	22年	2,071	360	310	356	420	岩手 37% 茨城 36% 福島 11% 青森 10%
	23年	2,179	240	229	269	240	
	24年	2,421	157	169	153	150	
	25年	2,076	403	387	437	385	
	26年	1,977	425	616	381	302	
マ	5カ年平均	2,145	310	333	313	294	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	1,900	350	350	350	350	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>岩手、茨城、福島、青森からの入荷が中心となる。東北産地は高温干ばつの影響で大きなピークなく後半に向かう模様。茨城は高温の影響はあるものの生育は概ね良好。</p> <p>入荷量は前年をやや下回り、価格は高騰した前年を大幅に下回る見込み。</p>					
ばれいしょ	22年	7,365	151	147	153	154	北海道 96% 青森 3%
	23年	7,272	124	124	125	123	
	24年	7,401	85	88	85	81	
	25年	8,105	141	142	144	138	
	26年	8,112	118	127	119	104	
い	5カ年平均	7,651	124	126	125	120	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	8,300	110	110	110	110	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>北海道からの入荷がほとんどを占める。北海道は干ばつの影響で一部地域で小玉傾向だが、全道では生育良好のため順調出荷が期待できる。</p> <p>入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
たまねぎ	22年	9,838	113	103	111	125	北海道 89% 中国 6% 兵庫 3%
	23年	10,821	94	84	97	100	
	24年	10,558	98	108	96	87	
	25年	11,075	113	113	113	113	
	26年	11,293	110	126	106	92	
ね	5カ年平均	10,717	106	107	105	103	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	12,000	100	110	100	90	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>北海道からの入荷が中心となる。北海道は一部地域で干ばつのため小玉傾向だが、全道では生育良好で大玉傾向と豊作の見込み。兵庫は前進出荷のため早めに切り上がる模様。</p> <p>入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果実計	22年	13,757	280	273	297	268	長野 28%
	23年	12,727	285	310	283	267	フィリピン 15%
	24年	10,656	369	384	368	357	青森 10%
	25年	10,927	321	320	337	321	愛知 6%
	26年	10,639	349	360	365	253	
	5カ年平均	11,741	317	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	9,800	340	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>国内の産地は長野、青森、愛知中心となる。近年8月は高冷地ほど天候が安定せず、なし、りんご等を中心に品質、出荷量への影響が懸念される。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>					
みかん	22年	1,275	398	570	432	327	熊本 25%
	23年	1,200	357	504	399	296	宮崎 22%
	24年	1,201	316	535	355	253	三重 19%
	25年	1,173	304	451	339	242	佐賀 14%
	26年	1,235	300	483	317	242	
	5カ年平均	1,217	336	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	1,200	300	500	300	250	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は熊本、宮崎、三重中心となる。夏場の日照量により、生育は順調に推移する。入荷量は昨年よりは少し減少するが、平年の数量には近づくことから、価格も落ち着く。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年並となる見込み。</p>					
なし	22年	2,071	374	373	376	374	長野 72%
	23年	2,507	270	269	266	278	新潟 7%
	24年	2,351	319	318	326	312	愛知 7%
	25年	1,886	292	282	291	309	富山 5%
	26年	2,494	284	302	283	271	
	5カ年平均	2,262	306	308	307	306	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	2,300	280	300	280	270	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は長野中心で、若干新潟、愛知から入る。 長野は台風の影響が懸念されるが、影響がなければ概ね生育も順調。Lサイズ、2Lサイズ中心となる。ただし、前年ほど入荷は多くない。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年並となる見込み。</p>					

注：平成26年、27年の4月、5月は入荷無しにつき単価は0円/kgで表記

東京都中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果実	22年	37,515	362	372	363	352	青森 11%
	23年	39,788	294	283	304	297	長野 10%
	24年	36,934	339	357	350	311	福島 9%
	25年	38,094	321	328	323	311	フィリピン 6%
	26年	40,502	331	352	336	307	
	5ヵ年平均	38,567	329	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	39,000	350	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>なし、りんご、みかん、ぶどうなどが入荷する。夏果実に続いて秋果実も生育は前進傾向だが、月間の入荷量は豊作基調であった前年をやや下回る見込み。各品目とも夏場の好天で食味がよく、内容の充実が見込まれる。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					
みかん	22年	3,408	350	494	341	309	宮崎 40%
	23年	3,211	330	570	333	276	熊本 19%
	24年	3,497	276	529	283	210	佐賀 14%
	25年	3,286	280	539	282	232	愛媛 8%
	26年	3,479	263	587	275	215	
	5ヵ年平均	3,376	299	544	302	248	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	3,300	270	600	300	240	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>ハウスものは中旬から切り上がり始める。露地の極早生みかんは上旬から九州産の入荷が始まる。宮崎はSサイズが中心で作付面積減少により出荷量はやや減少する。熊本は生育良好で前年並の出荷を見込む。入荷量は前年よりやや少なく、価格は前年をわずかに上回る見込み。</p>					
なし	22年	11,093	334	348	351	312	栃木 25%
	23年	13,196	224	209	235	229	福島 25%
	24年	10,206	309	327	327	270	茨城 17%
	25年	10,968	240	236	241	241	千葉 15%
	26年	11,576	252	287	243	223	
	5ヵ年平均	11,408	269	278	277	254	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	11,500	280	320	270	250	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>栃木、福島、茨城などから「豊水」・「幸水」を中心に入荷する。「豊水」について、栃木は上旬から入荷が始まり24・28玉中心となる。茨城は出荷量は前年並で上旬にピークを迎える。「幸水」について、福島は平年より1週間程度前進しており上旬で終了する。入荷量は前年並、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					

注：平成26年5月は入荷無しにつき単価は0円/kgで表記

# 切花・鉢花の9月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 8月31日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実績	22年	2,243	59	
		23年	2,142	57	
		24年	2,046	57	
		25年	2,032	58	
		26年	2,238	55	
		5ヶ年平均	2,140	57	
	27年見通し	2,100	58		
概要	愛知、長野、三重等から入荷。猛暑の影響から全体的にだらだらした出荷だが、愛知は上旬にピークを迎え、長野は一部に遅れが発生している。彼岸時期は落ち着いた入荷で堅調と思われる。				
小 ぎ	実績	22年	2,248	42	
		23年	2,102	33	
		24年	2,198	35	
		25年	2,421	31	
		26年	2,203	35	
		5ヶ年平均	2,234	35	
	27年見通し	2,100	40		
概要	愛知、長野、岩手、埼玉、奈良より入荷。愛知は前進ぎみ、岩手は昨年よりも少なめで、長野はガラガラ出荷と後半まで継続出荷。大きなピークもなく、堅調相場が見込まれる。				
カー ネ ー シ ョ ン	実績	22年	1,311	39	
		23年	1,438	36	
		24年	1,186	37	
		25年	1,272	45	
		26年	1,224	50	
		5ヶ年平均	1,286	41	
	27年見通し	1,250	50		
概要	長野、北海道を中心に入荷。今年は全般にスタートから順調で7月の一番花の集中出荷は高温抑制で全体的に大きな山はなく、大幅に崩れることなく8月を迎え、お盆需要と菊の前進品薄で高値が続いた。9月はブライダル需要等で堅調に推移すると思われる。				
か す み 草	実績	22年	78	112	
		23年	91	96	
		24年	102	87	
		25年	99	152	
		26年	98	168	
		5ヶ年平均	94	124	
	27年見通し	100	150		
概要	長野、福島、北海道から入荷。業務中心の販売だが、敬老など一般需要もあり、中旬以降は強い相場となりそう。入荷は例年よりやや多い予定でだが、気候により変動も考えられる。				

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆり	実績	22年	420	165	
		23年	422	180	
		24年	400	144	
		25年	390	178	
26年		367	191		
5ヶ年平均	400	171			
27年見通し	380	180			
概要	<p>オリエンタルは新潟中心に岐阜、北海道、埼玉などから入荷。数量が極端に増加することはない。LAは前半やや少ないが、彼岸に向け増加。鉄砲ユリは兵庫、愛媛中心に、高知からも入荷。数量は例年並みで、相場は彼岸に向い上昇する。品質面でも今のところ問題なし。</p>				
洋らん	実績	22年	549	68	
		23年	552	72	
		24年	565	61	
		25年	540	74	
26年		584	75		
5ヶ年平均	558	70			
27年見通し	560	70			
概要	<p>愛知、鹿児島、静岡等と輸入物が入荷。8月の酷暑の影響が少なからず出てくることが懸念される。全般的に荒れた市況展開となるだろう。</p>				
ばら	実績	22年	1,024	44	
		23年	858	46	
		24年	810	44	
		25年	863	46	
26年		856	55		
5ヶ年平均	900	47			
27年見通し	860	50			
概要	<p>愛知、三重、岐阜、和歌山、長野中心に入荷。気温の低下で、品質向上し、シルバーウィークに向けて入荷は増加する見込み。需要もブライダル、敬老と引合いは強くなっていく。</p>				
枝もの	実績	22年	1,997	32	
		23年	1,795	43	
		24年	1,608	41	
		25年	1,663	46	
26年		1,595	47		
5ヶ年平均	1,732	41			
27年見通し	1,700	45			
概要	<p>季節感あふれる実物や枝物、柳類中心に入荷。昨年早すぎたお月見も遅く、ススキは安定的に入荷予定量も多くなく、軟調傾向。山取りの枝物は人出不足で入荷少なく、堅調だろう。</p>				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ドラゼナ類	実績	22年	29,127	619	
		23年	27,999	704	
		24年	29,097	730	
		25年	28,128	722	
		26年	24,095	773	
	5ヶ年平均		27,689	707	
	27年見通し		23,000	780	
概要	<p>入荷量は昨年より減少か。主要品目(マッサン、ユッカ、ジェレ、サンデリー)がメインとなり、サイズも5~7号が主体となる見込み。                      昨年9月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知県(63.8%)、2位鹿児島県(16.2%)、3位沖縄県(11.1%)となっている。</p>				
オンシジウム	実績	22年	6,339	796	
		23年	6,000	750	
		24年	5,965	734	
		25年	6,775	652	
		26年	5,512	638	
	5ヶ年平均		6,118	715	
	27年見通し		5,000	650	
概要	<p>入荷量は作付が減った影響で昨年より減少か。暑さによる傷みが出やすいので出荷時に注意が必要である。また開花スピードが早い為、出荷時はツボミ多目をお願いしたい。                      昨年9月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知県(64.1%)、2位長崎県(11.7%)、3位広島県(6.8%)となっている。</p>				
アンズリウム	実績	22年	10,409	925	
		23年	12,468	718	
		24年	12,576	759	
		25年	13,345	748	
		26年	10,808	750	
	5ヶ年平均		11,921	775	
	27年見通し		10,500	750	
概要	<p>入荷量は昨年より減少か。6号~8号で赤・ピンクが中心での入荷を予想している。                      昨年9月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知県(97.5%)、2位三重県(1.4%)、3位岐阜県(0.7%)となっている。</p>				

単位：鉢、円/鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
シヤコバ	実績	22年	49,516	395	
		23年	45,961	392	
		24年	39,762	390	
		25年	49,141	375	
		26年	38,620	396	
	5ヶ年平均	44,600	389		
	27年見通し	38,000	390		
概要	<p>入荷量は昨年より減少か。全国的に生産量が減少しているのが要因では。毎年3.5号～5号までの引き合いが強い。6号以上の高単価のものは毎年ではあるが苦戦している。昨年9月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位埼玉県（55.9%）、2位愛知県（37.7%）、3位茨城県（6.2%）となっている。</p>				
シクラメン	実績	22年	81,102	149	
		23年	85,045	148	
		24年	85,883	140	
		25年	148,054	149	
		26年	149,159	147	
	5ヶ年平均	109,849	147		
	27年見通し	155,000	140		
概要	<p>入荷量は昨年より増加か。9月の入荷に関してはガーデンシクラメンに限られはするが増加の見込み。価格面については、暑さの残る上旬は特に厳しい見込みである。昨年9月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位長野県（68.9%）、2位北海道（10.0%）、3位愛知県（8.3%）となっている。</p>				
カランコエ	実績	22年	63,300	181	
		23年	65,686	182	
		24年	66,622	180	
		25年	67,390	186	
		26年	64,023	193	
	5ヶ年平均	65,404	184		
	27年見通し	64,000	200		
概要	<p>入荷量は昨年並か。3.5号～6号MIX植えまで順調な見込み。5号～6号のMIX植えは引き合いが強くなる。昨年9月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位埼玉県（59.5%）、2位岐阜県（28.1%）、3位茨城県（4.8%）となっている。</p>				



# 主要農林水産物の輸出入実績(2015年)

## 1 輸入実績

品名	6月						6月までの累計					
	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比
	トン	%	千円	%	円/kg	%	トン	%	千円	%	円/kg	%
野菜(生鮮・冷蔵)	75,999	112.3	7,715,261	130.5	102	116.3	436,351	104	48,954,656	112	112	107
トマト	494	97.1	189,457	95.2	384	98.0	3,071	118	1,167,669	112	380	95
たまねぎ	38,555	109.7	1,900,250	144.0	49	131.3	167,779	106	8,577,037	100	51	95
にんにく	1,439	108.4	336,505	152.8	234	141.0	9,752	130	2,082,609	170	214	131
ねぎ	4,547	102.8	680,902	169.3	150	164.8	27,062	116	3,156,283	121	117	105
ブロッコリー	1,708	57.6	469,688	72.9	275	126.7	10,128	67	2,637,240	90	260	134
結球キャベツ	1,170	81.0	58,887	142.3	50	175.8	14,621	60	656,293	64	45	107
にんじん・かぶ	8,478	130.4	432,976	167.4	51	128.4	35,607	109	1,746,631	93	49	85
ごぼう	2,800	84.8	186,369	76.1	67	89.7	17,954	95	1,078,499	62	60	66
えんどう	50	131.6	21,114	201.9	422	153.5	527	132	216,602	159	411	120
アスパラガス	129	56.3	114,547	70.3	888	124.9	4,732	65	3,684,870	92	779	140
まつたけ	0.3	29.0	2,501	153.3	8,624	528.8	0.4	-	2,964	-	6,829	-
しいたけ	76	88.4	36,348	106.8	478	120.8	1,187	89	455,401	90	384	101
かぼちゃ	6,251	202.8	795,307	237.3	127	117.0	84,938	111	7,801,189	129	92	117
果実(生鮮・乾燥)	181,990	107.6	39,204,633	130.3	215	121.1	873,072	125	172,789,825	150	198	120
バナナ	88,572	108.2	10,218,025	131.7	115	121.8	480,139	121	48,880,478	142	102	117
パイナップル	15,321	101.3	1,354,572	119.7	88	118.1	76,641	118	6,390,872	137	83	116
レモン	4,812	117.1	1,177,284	132.9	245	113.5	23,580	130	6,058,241	165	257	127
オレンジ	16,858	115.2	2,645,102	133.3	157	115.8	50,325	150	8,182,275	156	163	104
グレープフルーツ	15,052	76.4	1,347,938	80.1	90	104.9	57,219	123	7,664,650	130	134	105
メロン	3,388	163.8	368,274	147.7	109	90.2	16,197	96	1,824,161	101	113	106
ぶどう	3,357	86.6	1,238,645	107.2	369	123.9	30,901	281	9,712,398	388	314	138
キウイ	16,262	184.3	5,760,269	187.0	354	101.5	44,391	185	15,647,021	176	352	95
いちご	290	90.1	323,340	103.5	1,115	114.9	361	968	399,124	1,013	1,106	105
切花(生鮮・乾燥)	2,210	91.8	2,185,844	106.0	989	115.5	18,284	109	17,519,166	117	958	108
鳥獣肉類	160,913	99.1	84,870,196	103.7	527	104.7	929,877	123	508,538,573	136	547	111
牛肉(くず肉含む)	39,224	88.6	27,182,691	111.5	693	125.8	243,300	127	173,353,819	168	713	132
豚肉(くず肉含む)	64,600	97.5	34,352,913	91.9	532	94.3	380,212	112	206,554,742	113	543	101
鶏肉	47,202	112.7	14,159,625	118.5	300	105.2	249,120	139	76,788,831	154	308	111
水産物(生鮮・冷蔵・冷凍)	142,966	107.5	92,515,780	111.5	647	103.7	823,760	122	550,558,946	123	668	101
まぐろ類	13,388	86.4	12,087,956	96.3	903	111.5	97,793	114	102,410,786	128	1,047	112
さば・さんま・あじ・いわし	4,492	118.6	1,017,985	114.9	227	96.9	45,490	131	10,083,961	128	222	97

## 2 輸出実績

果実(生鮮・乾燥)	435	179.0	364,901	172.6	839	96.4	14,870	175	6,647,234	185	447	105
うんしゅうみかん	6	120.1	7,109	104.0	1,184	86.6	272	105	152,091	98	559	94
りんご	274	180.3	124,986	183.6	456	101.9	13,794	175	5,263,386	179	382	102
なし	-	-	-	-	-	-	60	728	30,966	709	516	98
野菜(生鮮・冷蔵・乾燥)	-	-	350,515	102.0	-	-	-	-	1,934,576	156	-	-
緑茶	295	132.9	742,728	139.0	2,518	104.6	1,806	133	4,401,038	142	2,437	107

資料 農林水産省大臣官房統計部「農林水産物輸出入情報」

速報値によるデータのため、累計値に誤差がある場合があります。

# 関 連 指 数

年 月		消費者物価指数 <span style="font-size: small;">(全 国 平成22年 = 100)</span> <span style="font-size: x-small;">愛知県 平成22年 = 100</span>				
		総 合	生 鮮 野 菜	生 鮮 果 物	肉 類	魚 介 類
全 国	24年平均	99.7	96.1	103.3	99.0	101.4
	25年平均	100.0	96.4	101.6	99.3	102.4
	27年 3月	103.3	102.3	121.4	111.2	115.4
	4月	103.7	112.3	118.9	111.8	115.5
	5月	104.0	114.8	127.6	111.8	114.9
	6月	103.8	107.4	115.4	112.2	114.5
愛 知 県	24年平均	99.5	95.9	102.9	98.6	101.4
	25年平均	100.3	100.3	105.6	99.9	105.6
	27年 3月	103.3	105.4	123.5	112.6	115.4
	4月	103.9	116.3	123.4	113.4	115.1
	5月	104.1	117.9	134.8	113.4	113.7
	6月	103.8	110.8	113.5	115.1	114.6

年 月		農業物価指数 (平成22年 = 100)				
		農産物 総 合	米	野 菜	果 実	畜産物
全 国	24年平均	101.8	111.1	99.0	102.8	100.9
	25年平均	102.8	112.8	98.7	94.7	107.7
	27年 3月	110.6	83.5	120.4	114.5	124.4
	4月	112.7	83.0	121.6	124.9	124.1
	5月	111.6	83.1	118.9	128.1	124.2
	6月	103.4	83.2	104.3	108.5	125.2

資料 農林水産省大臣官房統計部「農業物価指数」

資料 全 国・総務省統計局「消費者物価指数月報」  
愛知県・愛知県県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

名 古 屋 市 小 売 価 格 (円)														
年 月	品目 単位	うるち 米 (単一品種、 「コシ加」 以外)	キ ャ ベ ツ	は く さ い	ね ぎ	レ タ ス	ば れ い し ょ	だ い こ ん	に ん じ ん	た ま ね ぎ	き ゆ う り	ト マ ト	生 しい た け	りん ご (ふ じ)
		5 kg	1 kg										100g	1kg
24年平均		2,112	147	178	629	457	297	160	350	229	558	665	165	564
25年平均		2,084	149	182	649	442	299	163	388	231	569	695	162	567
27年 3月		1,847	156	188	588	547	334	155	317	253	614	741	184	482
4月		1,847	206	273	639	628	398	205	364	250	754	700	162	528
5月		1,818	353	368	722	461	442	197	363	254	510	697	163	630
6月		1,855	177	303	837	407	438	166	430	297	489	626	168	684
年 月	品目 単位	み か ん	グ レ イ プ フ ル ー ツ	オ レ ン ジ	い ち ご	バ ナ ナ	キ ウ イ フ ル ー ツ	緑 茶 (せん 茶)	カ ー ネ ー シ ョ ン	き く	パ ラ	豚 肉 (パ ラ )	牛 肉 (ロ ー ス )	ま ぐ ろ
		1 kg	100g	1 kg	100g	1 本	100g	1 本	100g					
24年平均		582	283	352	177	211	805	534	153	168	306	225	797	398
25年平均		581	285	355	179	214	792	530	159	171	310	231	794	390
27年 3月		682	391	497	174	256	886	537	185	183	358	215	916	449
4月		-	398	464	165	261	930	516	174	177	359	219	912	447
5月		-	428	473	178	261	898	526	196	180	350	216	882	423
6月		-	384	485	-	259	901	523	171	172	335	226	908	467

豚肉は26年12月までロースの価格を示す。

資料 総務省統計局「小売物価統計調査報告」



## いいともあいち運動って知ってる？

県内の消費者と生産者が今まで以上に**いい友**関係になる

Eat more Aichi products ( **イート モア アイチ** プロダクツ )

= もっと愛知県産品を食べよう ( 利用しよう )

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えていこうという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート 507  
平成27年9月発行  
農林水産部食育推進課  
〒460-8501  
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号  
電話 (052) 954-6421